

事 務 連 絡

平成29年 4 月 4 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 部 課
附 属 学 校 を 置 く 各 国 立 大 学 法 人 事 務 局 御 中
構造改革特別区域法第 1 2 条第 1 項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

児童生徒等の通学時の安全確保について（依頼）

標記については、これまでも格段の御尽力を頂いているところですが、依然として通学
中の児童生徒等が交通事故や犯罪被害に遭う例が発生しています。新年度・新学期には、
児童生徒等の環境変化に伴う事故の増大等も見込まれることから、安全教育や安全管理に
一層の御配慮をお願いいたします。

児童生徒等の交通安全については、今般、別添のとおり警察庁から情報提供がありまし
た。これによれば、

小学生（特に小学 1・2 年生）は、歩行中事故が多い（死傷者数では 7 歳がピーク）
こと。

小学生の歩行中事故は、新学期開始から夏休みまで（4 月～7 月）と秋（10 月～11 月）
が多く、その類型は「横断中」と「飛び出し」が多いこと。

小学 3 年生以降、自転車事故が多くなり、中学 1 年生で増加し、高校 1 年生でさらに
増加する（死傷者数では、16 歳がピーク）こと。

中学生・高校生の自転車乗車中事故は、新学期開始から夏休みまで（4 月～7 月）と
秋（9 月～11 月）が多く、その類型は「出会い頭」が多いこと。

などの特徴がみられます。これらの情報も積極的に活用し、各都道府県警察と連携して歩
行者や自転車の通行場所、横断の仕方、自転車の走行上の注意等に関する効果的な安全教
育・安全管理をお願いします。なお、各都道府県警察に対しては警察庁から同様の内容が
周知されていることを申し添えます。

また、通学時の安全確保は、交通安全の観点からのみでなく防犯の観点からも対策が必要です。具体的には、「登下校時における幼児児童生徒の安全確保について」(平成20年5月7日20ス学健第5号)及び「登下校時における幼児児童生徒の安全確保について」(平成17年12月6日17文科ス第333号)等により依頼してきたように、児童生徒等を極力一人にしないという観点からの安全な登下校方策の策定・実施、児童生徒等の登下校を地域全体で見守る体制の整備等が重要です。

以上の対策の実施に当たっては、通学路の安全点検の際に専門家の知見を取り入れることや、見守り活動の際にスクールガード・リーダーによる巡回指導を行うことなどが有効であると考えられます。文部科学省としても、「学校安全教室推進事業」や「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」において、教職員の研修機会の充実や外部専門家の活用促進を行うとともに、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」において、学校安全ボランティアの養成・研修や、スクールガード・リーダーの巡回指導を推進しているところであり、適宜これらの施策を活用いただき、取組の充実に努めていただくようお願いします。

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課におかれては所管の学校及び域内の市町村教育委員会に対して、各都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の私立学校に対して、附属学校を置く各国立大学法人事務局におかれては管下の附属学校に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び当該会社が設置する学校に対して、それぞれ周知されるようお願いします。

なお、教育委員会学校安全主管課、私立学校主管部課、国立大学法人事務局におかれては、地域全体で児童生徒等の安全を確保するという観点から、私立学校及び国立学校にも学校安全に関する情報共有等が行われるよう積極的に連携願います。

【本件担当】

初等中等教育局 健康教育・食育課

交通安全係

電話 03-5253-4111(内線2695)

事 務 連 絡
平成29年3月21日

文部科学省初等中等教育局
健康教育食育課 御中

警察庁交通局交通企画課

子供等の交通事故防止について

この度、警察庁において、児童・生徒や保護者等に対する交通安全教育等に活用できるように、別添のとおり、「子供等の交通事故について」をまとめましたので、貴省における学校での交通安全教育の企画・立案に御活用願います。

あわせて、学校教育現場において、子供に対する街頭での安全指導や安全教育、広報啓発に御活用いただくため、都道府県教育委員会等へ御送付願います。

なお、別添資料については、当庁から各都道府県警察に送付済みですが、公表は本年3月23日を予定していますので、それまでの間、部外秘で願います。

本件担当

交通企画課安全係

横山警視 800-5042

斎藤警部 800-5037

別添

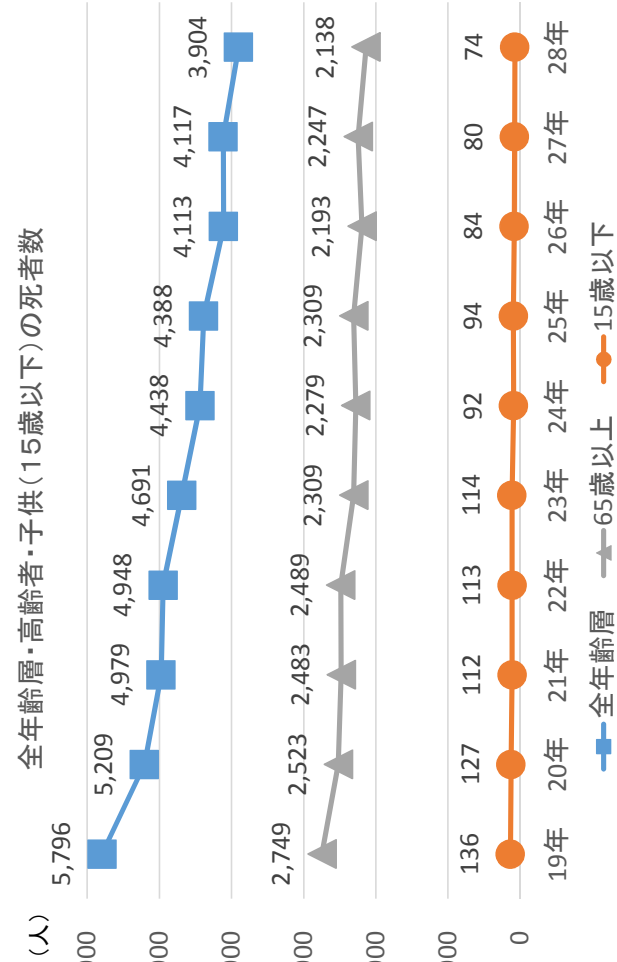
子供等の交通事故について

1 全体のまとめ(ポイント)

- 小学生（特に小学1・2年生）は、歩行中事故が多い（死傷者数では7歳がピーク）。歩行中では、男児は女児の2.5倍。
- 小学生の歩行中事故は、
 - ・ 新学期開始から夏休みまで（4月～7月）と秋（10月～11月）
 - ・ 登校及び下校後の時間帯（7時台、15時台～17時台）
 - ・ 横断中事故と飛出しが多い。
- 小学3年生以降、自転車事故が多くなり、中学1年生で増加し、高校1年生で更に増加する（死傷者数では16歳がピーク）。自転車乗用中では、男子が女子の3倍以上。
- 中学生・高校生の自転車乗用中事故は、
 - ・ 新学期開始から夏休みまで（4月～7月）と秋（9～11月）
 - ・ 登校時間帯（7・8時台）
 - ・ 出会い頭事故が多い。

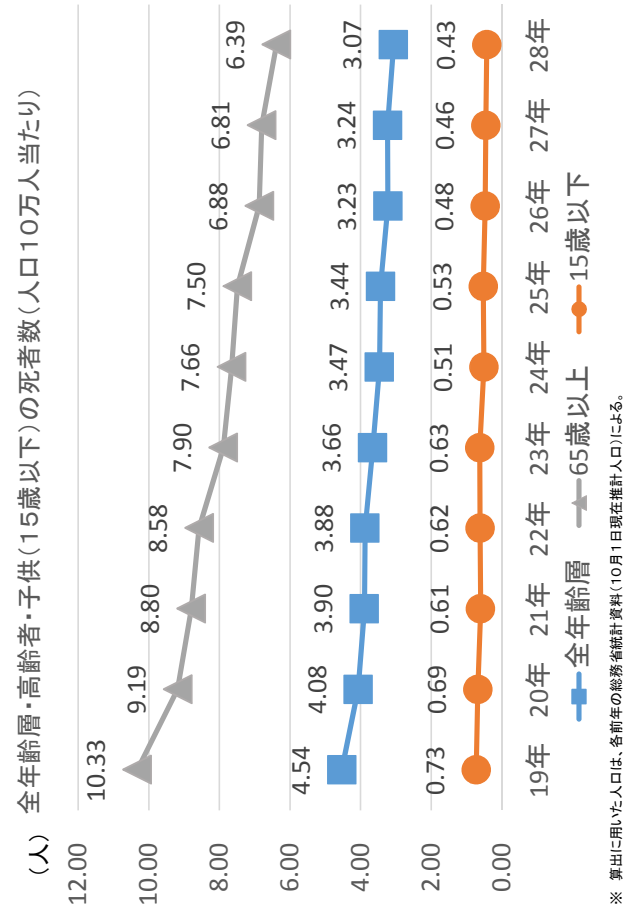
2 死者数の推移

- 全年齢層、高齢者、子供（15歳以下）の死者数は、いずれも減少傾向（人口10万人当たりも同様）
- 平成19年を100とした場合、全年齢と高齢者より、子供の減少率は大きい（人口10万人当たりも同様）。



死者数	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
全年齢層	5,796	5,209	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904
65歳以上	2,749	2,523	2,483	2,489	2,309	2,279	2,309	2,193	2,247	2,138
15歳以下	136	127	112	113	114	92	94	84	80	74

指数	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
全年齢層	100.0	89.9	85.9	85.4	80.9	76.6	75.7	71.0	71.0	67.4
65歳以上	100.0	91.8	90.3	90.5	84.0	82.9	84.0	79.8	81.7	77.8
15歳以下	100.0	93.4	82.4	83.1	83.8	67.6	69.1	61.8	58.8	54.4

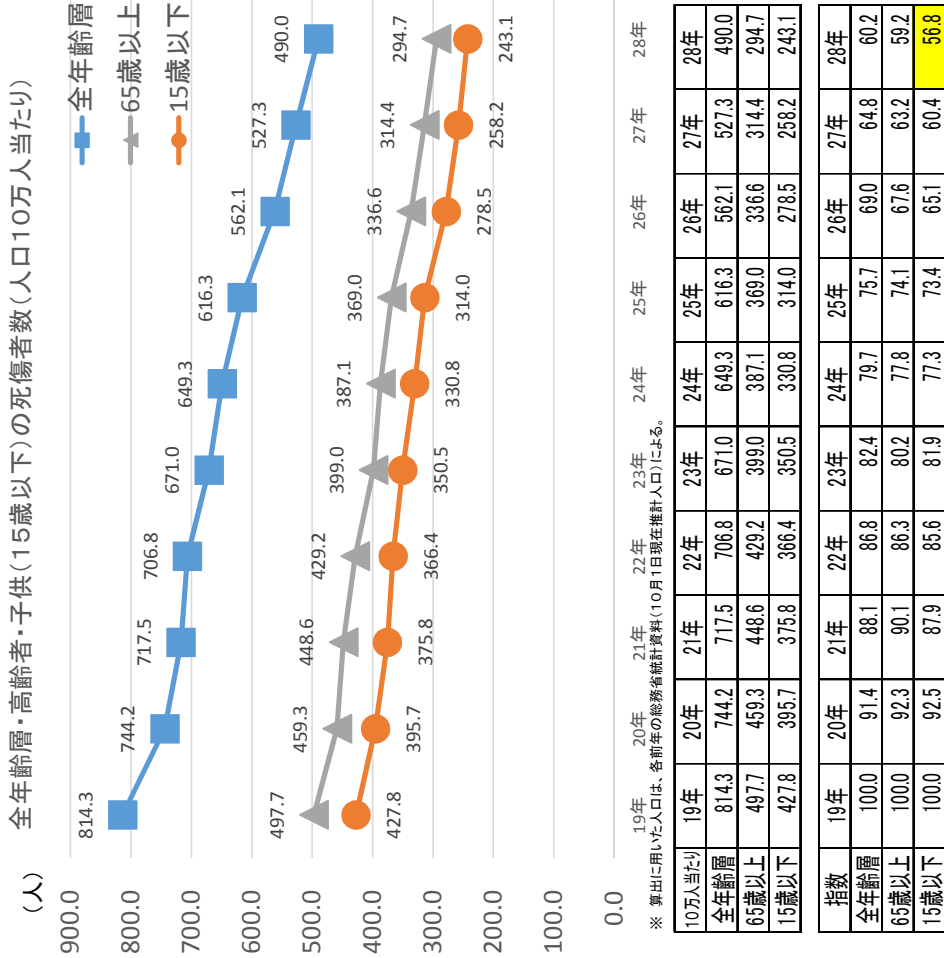
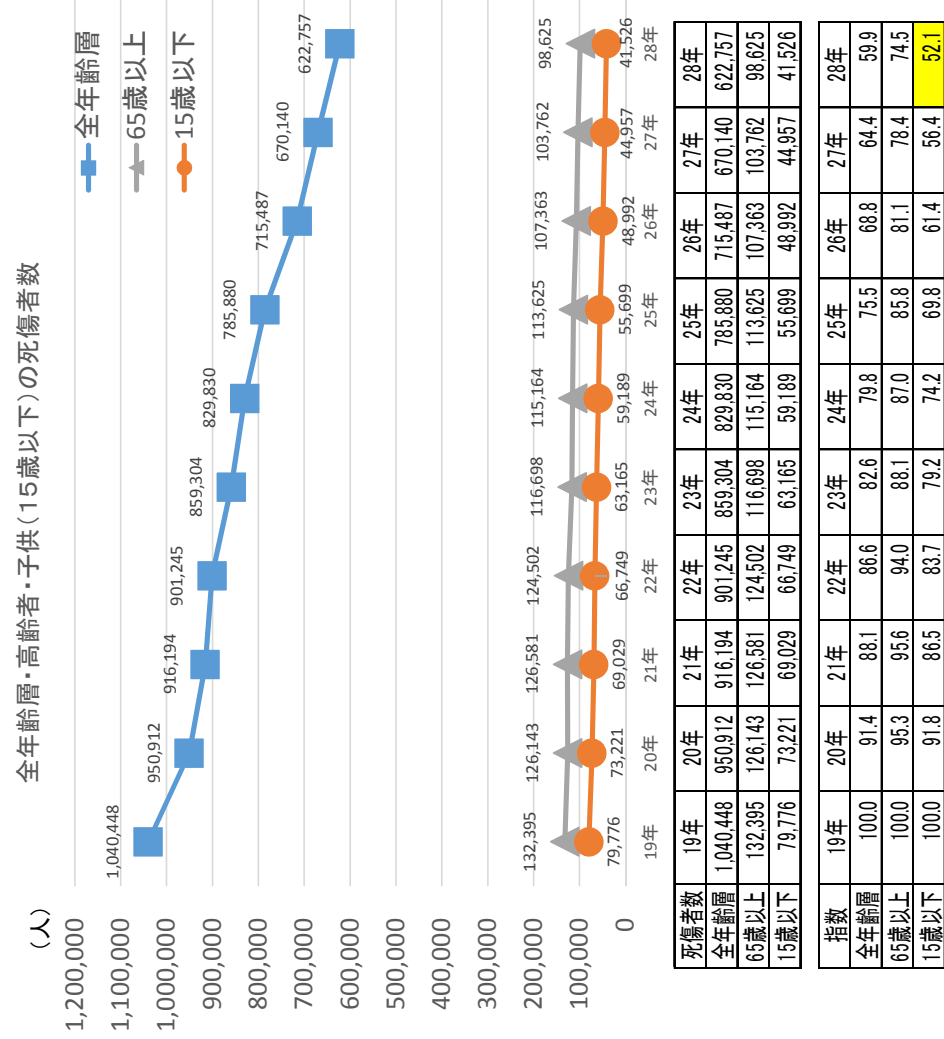


10万人当たり	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
全年齢層	4.54	4.08	3.90	3.88	3.66	3.47	3.44	3.23	3.24	3.07
65歳以上	10.33	9.19	8.80	8.58	7.90	7.66	7.50	6.88	6.81	6.39
15歳以下	0.73	0.69	0.61	0.62	0.63	0.51	0.53	0.48	0.46	0.43

指数	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
全年齢層	100.0	89.9	86.0	85.5	80.8	76.6	75.9	71.2	71.4	67.7
65歳以上	100.0	88.9	85.2	83.0	76.4	74.1	72.6	66.5	65.9	61.8
15歳以下	100.0	94.1	83.6	85.0	86.7	70.5	72.7	65.5	63.0	59.4

3 死傷者数の推移

- 全年齢層、高齢者、子供（15歳以下）の死傷者数は、いずれも減少傾向（人口10万人当たりも同様）
- 平成19年を100とした場合、全年齢と高齢者より、子供の減少率は大きい（人口10万人当たりも同様）。

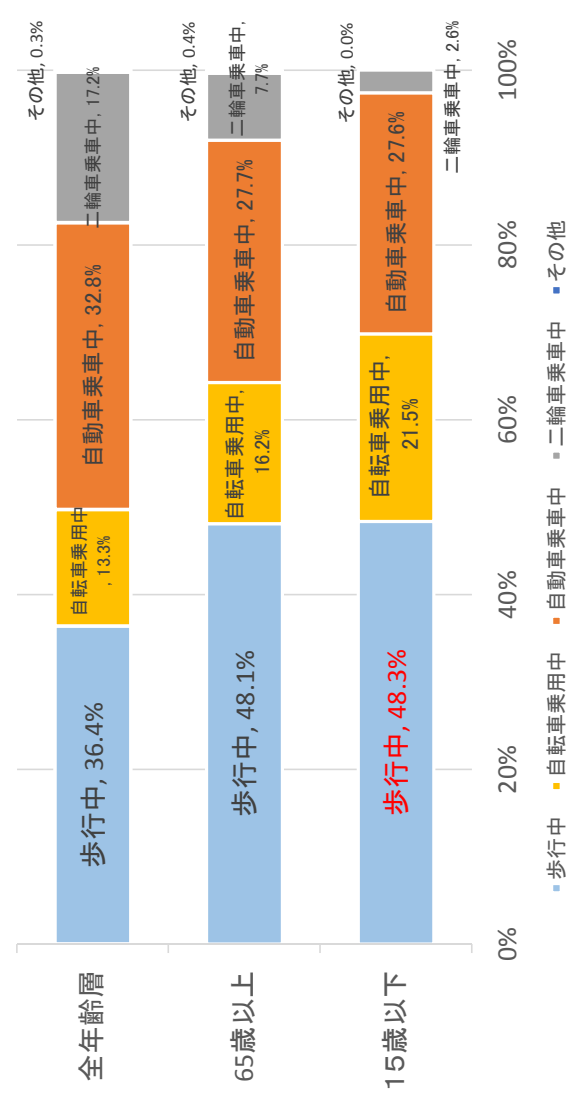


4 状態別死者数・死傷者数

● 子供(15歳以下)の死者数は、48.3%が歩行中

● 子供の死傷者数は、37.4%が自転車乗用中

全年齢層・高齢者・子供の状態別死者数の割合
H24～H28(5年)



死者数	歩行中	自転車乗用中	自動車乗用中	二輪車乗用中	その他	合計
全年齢層	7,627	2,789	6,880	3,609	55	20,960
65歳以上	5,371	1,804	3,093	858	40	11,166
15歳以下	205	91	117	11	0	424

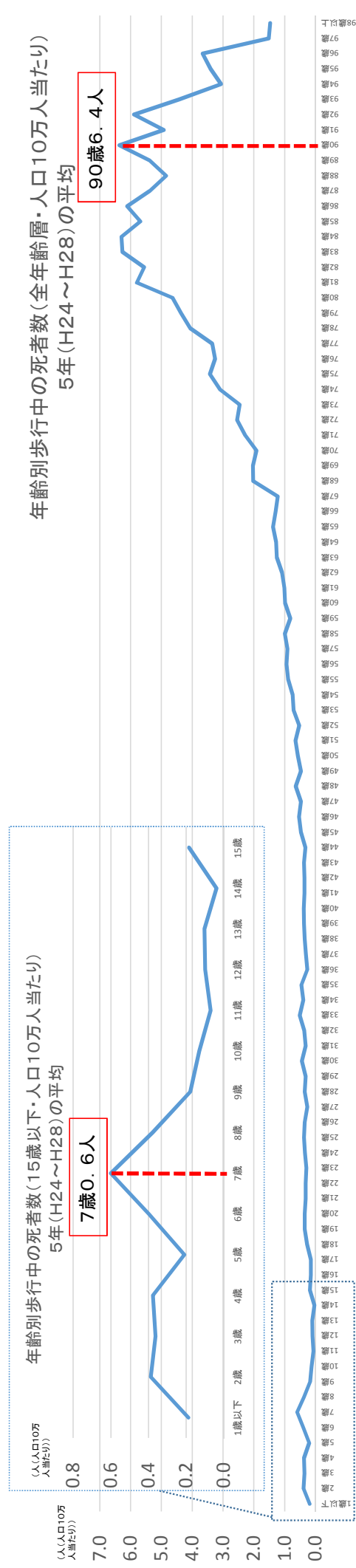
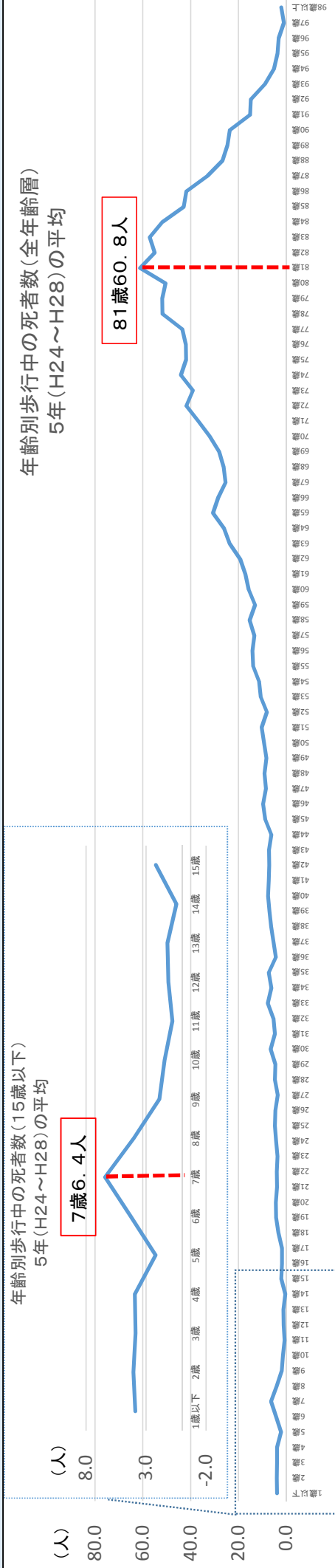
全年齢層・高齢者・子供の状態別死傷者数の割合
H24～H28(5年)



死傷者数	歩行中	自転車乗用中	自動車乗用中	二輪車乗用中	その他	合計
全年齢層	297,331	548,692	2,370,278	403,708	4,085	3,624,094
65歳以上	94,027	102,839	291,731	49,212	730	538,539
15歳以下	47,235	93,622	107,961	969	576	250,363

5 歩行中の死者数(年齢別)

- 歩行中の死者数では81歳(人口10万人当たりでは90歳)が最も多いが、15歳以下で見ると、7歳(小学1・2年生)が最も多い。

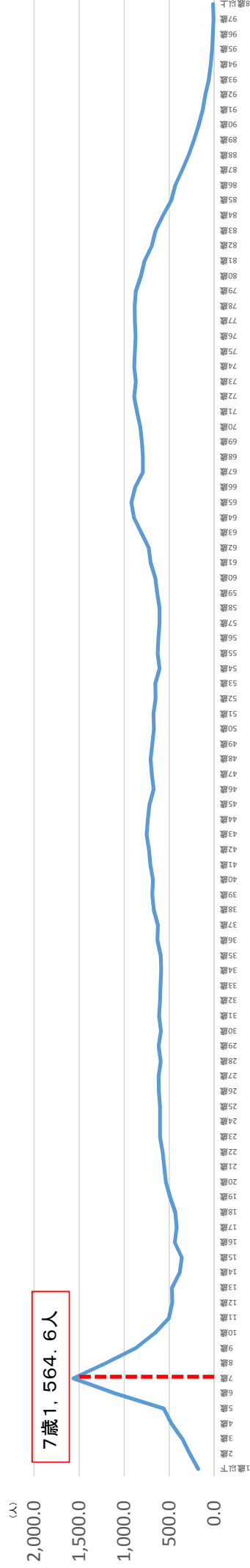


※ 算出に用いた人口は、平成26年の推計人口(総務省人口統計資料平成26年10月1日現在)による。

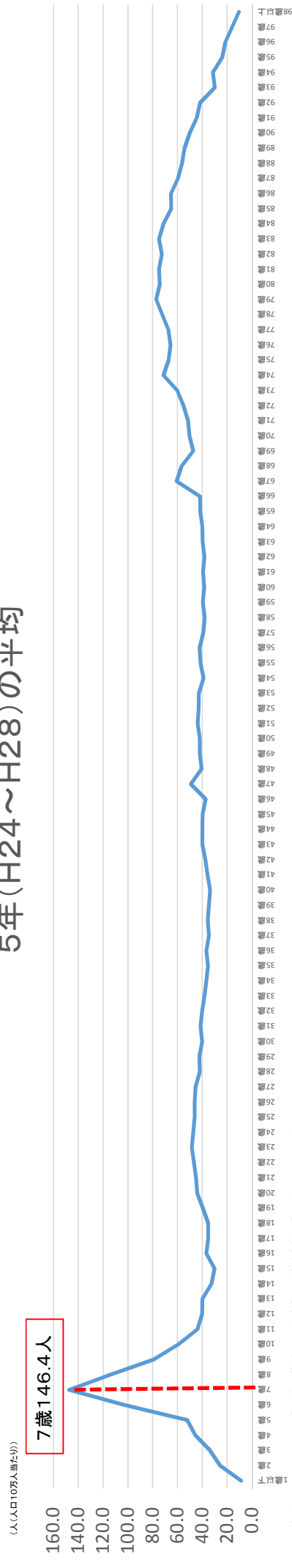
6 歩行中の死傷者数（年齢別）

- 7歳（小学1・2年生）の死傷者数が最も多い。

年齢別歩行中の死傷者数
5年（H24～H28）の平均



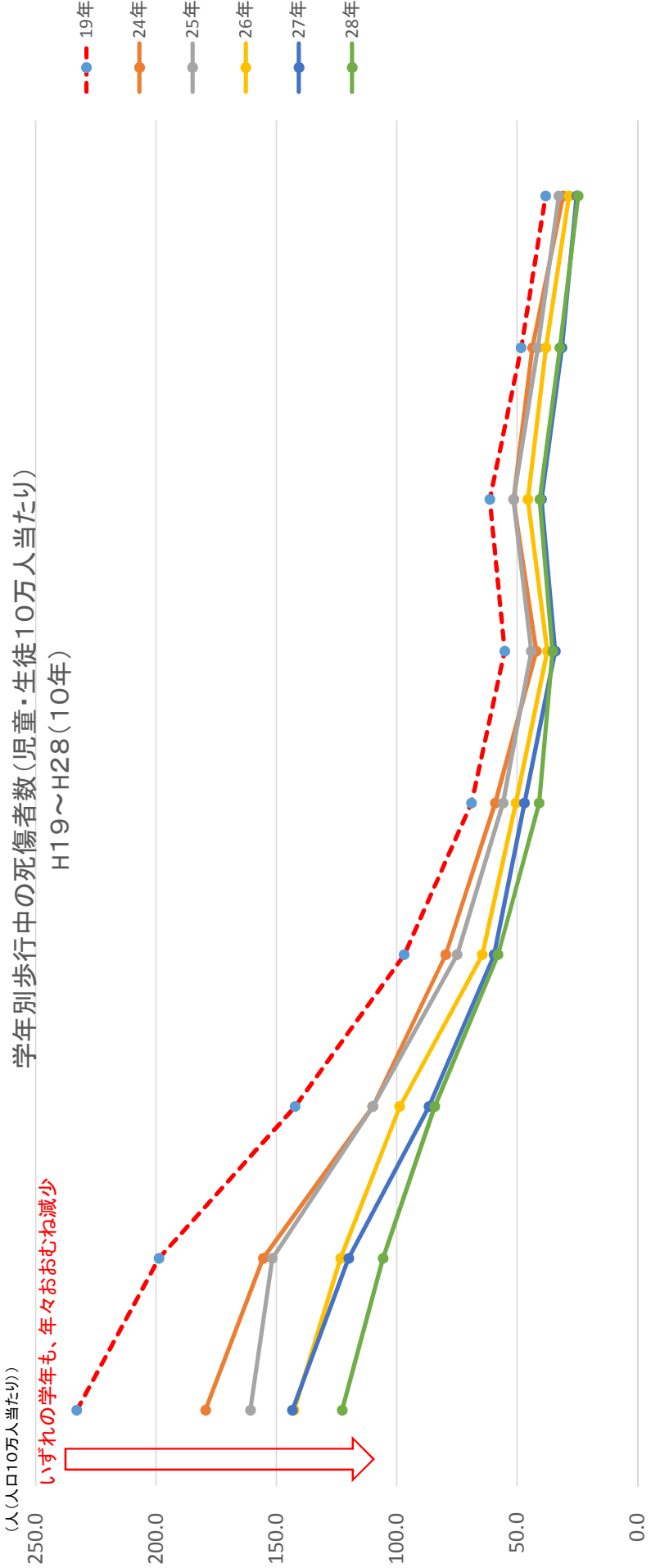
年齢別歩行中の死傷者数（人口10万人当たり）
5年（H24～H28）の平均



※ 算出に用いた人口は、平成26年の推計人口（総務省人口統計資料平成26年10月1日現在）による。

7 歩行中の死傷者数(小学生・中学生)

● 小学1年生から中学3年生の歩行中死傷者数(10万人当たり)は、各学年とも、年々減少傾向



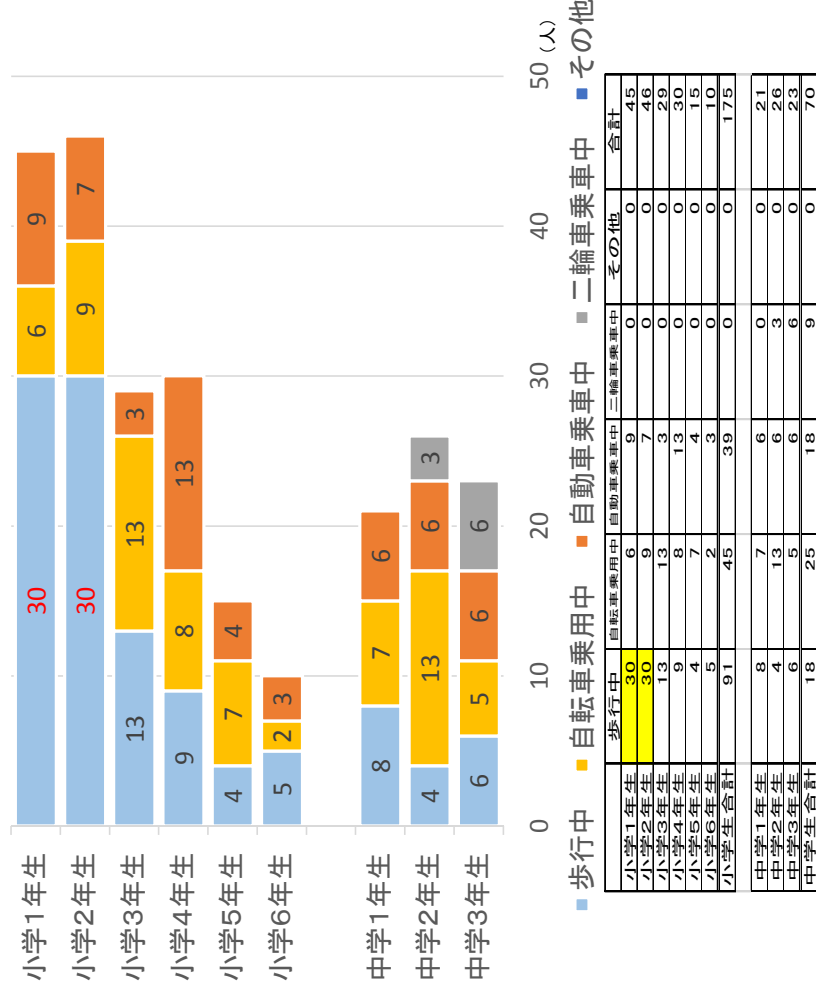
※ 算出に用いた児童・生徒数は、各年の学校基本調査(文部科学省統計資料5月1日現在)による。

8 状態別死者数・死傷者数(小学生・中学生)

- 小学生では歩行中死者数が半数を超え、小学1・2年生の「歩行中」が突出
- 中学生では自転車乗用中の占める割合が高い。

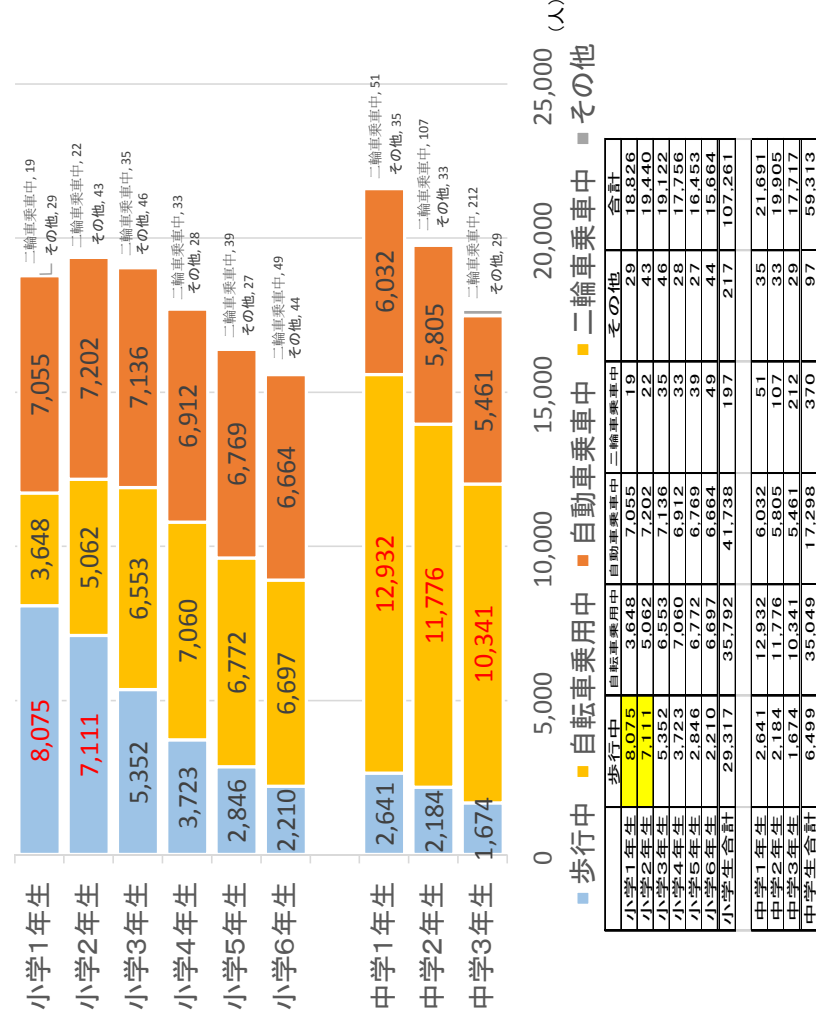
小学生・中学生の状態別死者数

H24～H28(5年)



小学生・中学生の状態別死傷者数

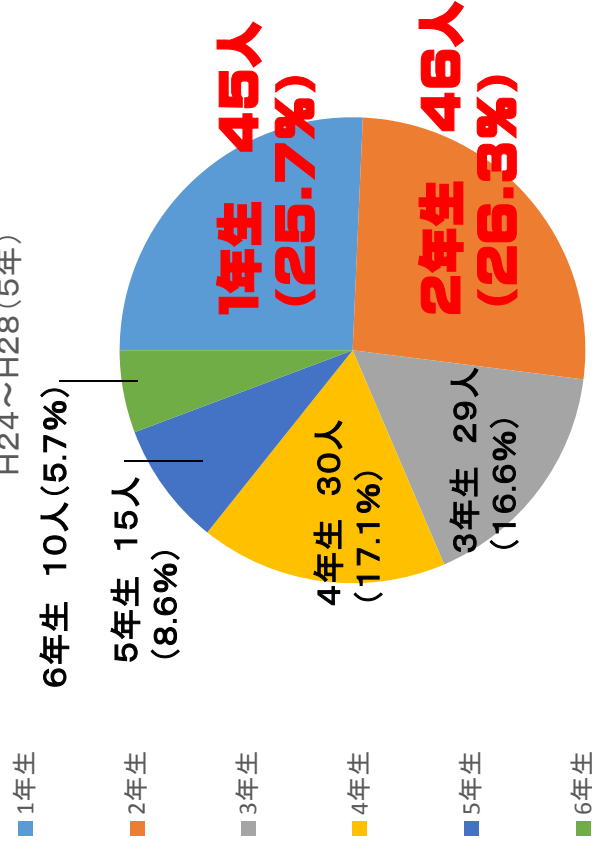
H24～H28(5年)



9 小学生の学年別死者数

- 小学生死者数全体のうち、小学1・2年生が半数以上(52.0%)を占める。
- 歩行中に限ると、小学1・2年生は、小学生死者数の3分の2近く(65.9%)を占める。

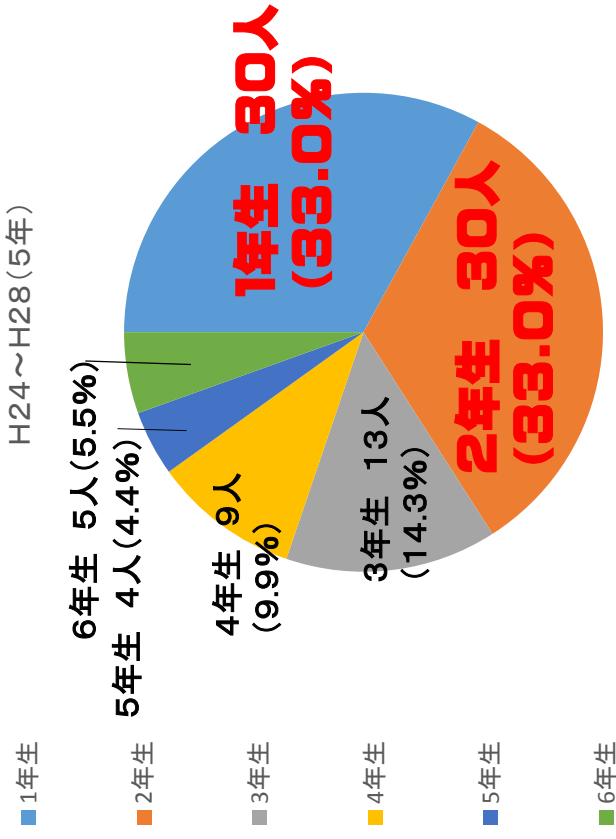
学年別死者数
H24～H28(5年)



(人)

	H24	H25	H26	H27	H28	5年合計
1年生	6	12	7	10	10	45
2年生	12	11	9	9	5	46
3年生	3	6	9	7	4	29
4年生	8	3	6	4	9	30
5年生	1	3	3	4	4	15
6年生	3	1	4	2	0	10
合計	33	36	38	36	32	175

学年別死者数(歩行中)
H24～H28(5年)



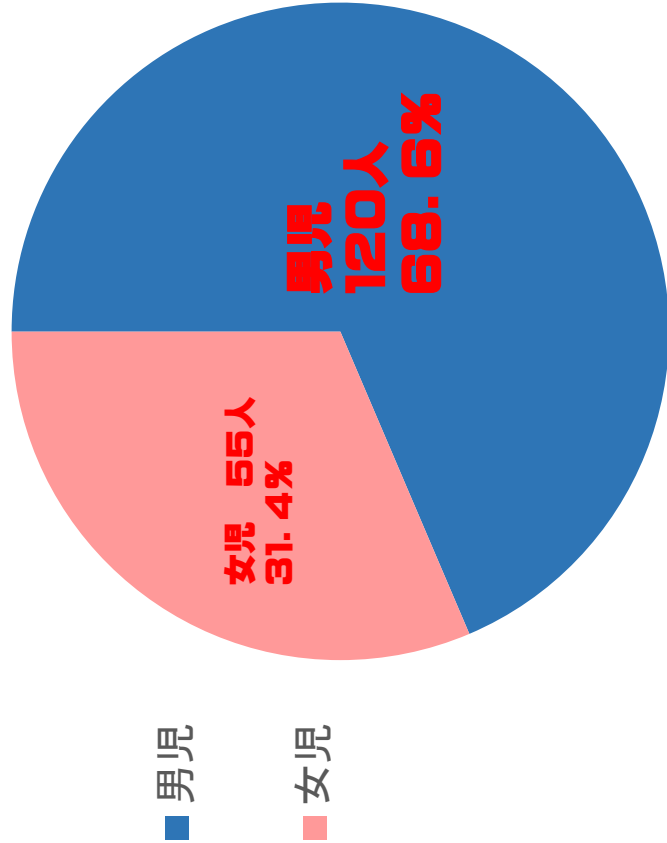
(人)

	H24	H25	H26	H27	H28	5年合計
1年生	4	7	6	7	6	30
2年生	9	8	6	2	5	30
3年生	2	4	4	3	0	13
4年生	2	2	1	1	3	9
5年生	0	1	2	1	0	4
6年生	2	0	2	1	0	5
合計	19	22	21	15	14	91

10 小学生の男女別死者数

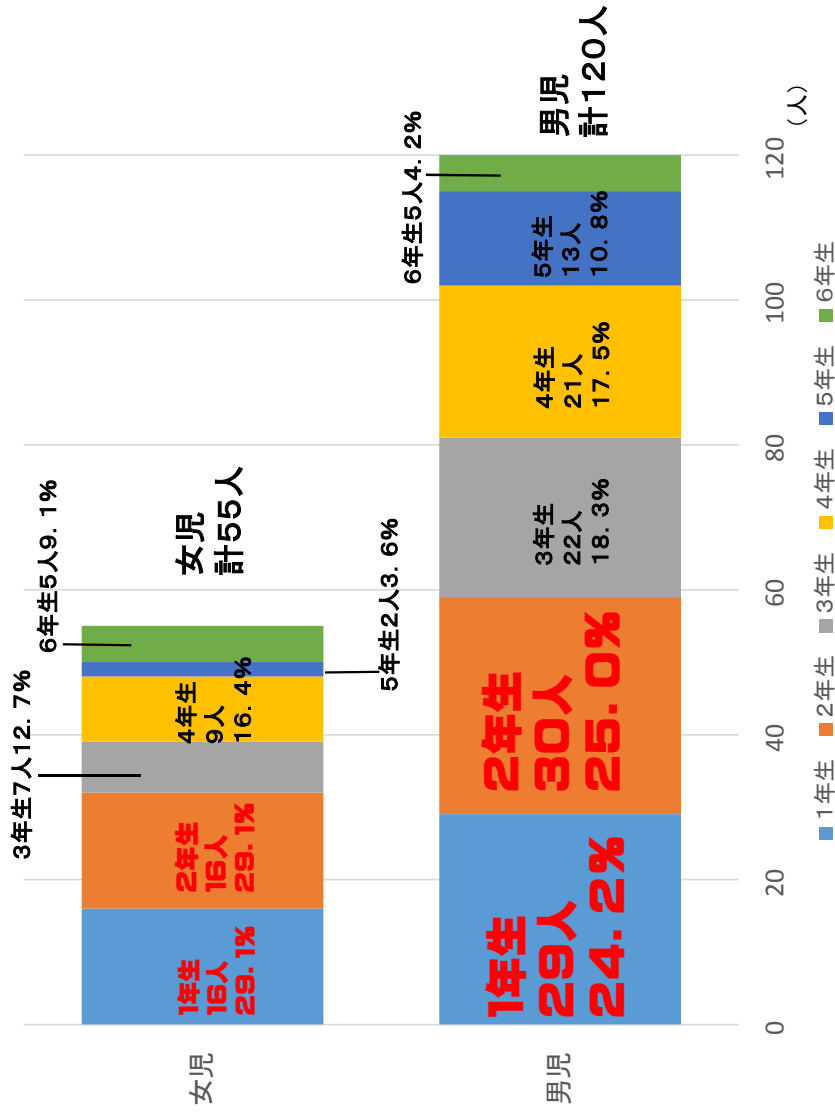
● 男児の死者数は、女児の死者数の2倍以上

男児・女児別死者数
H24～H28(5年)



男児は女児の2.2倍

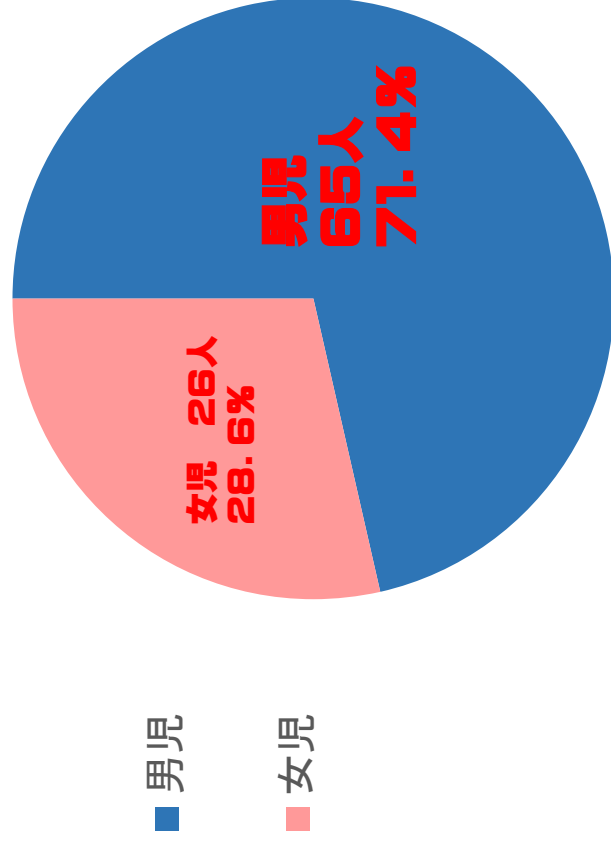
男児・女児別、学年別死者数
H24～H28(5年)



11 小学生の歩行中男女別死者数

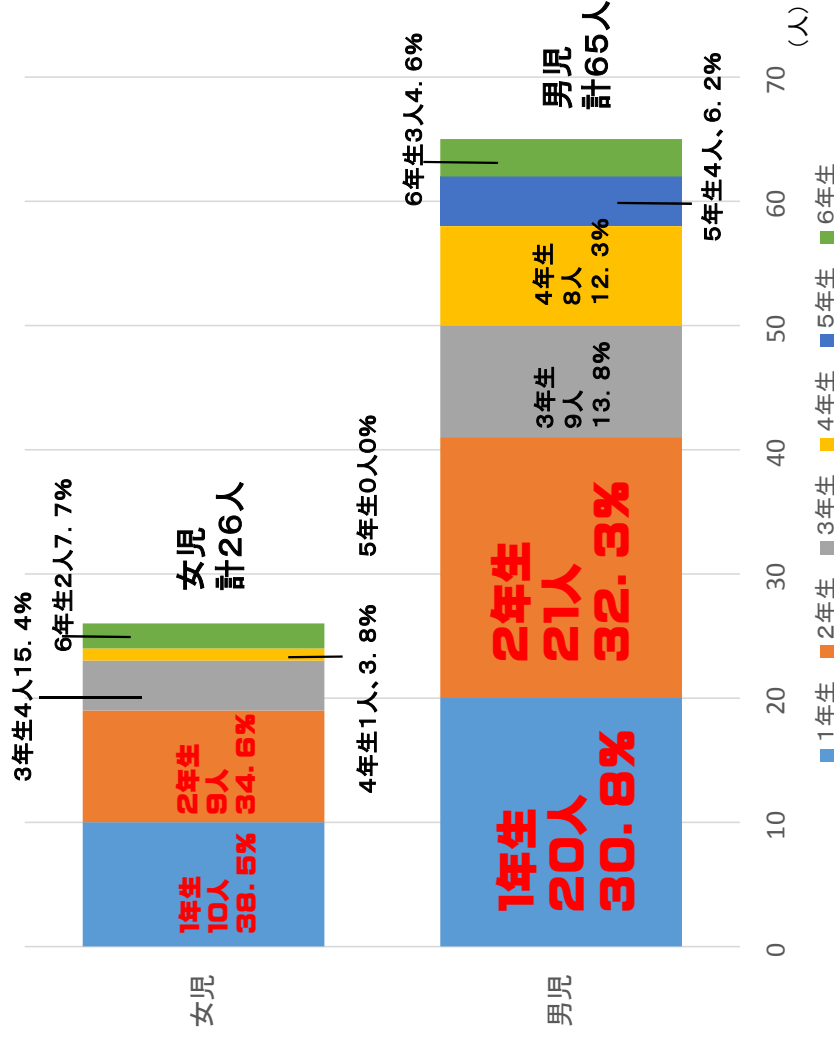
- 男児の歩行中死者数は、女児の死者数の2.5倍

男児・女児別死者数(歩行中)
H24～H28(5年)



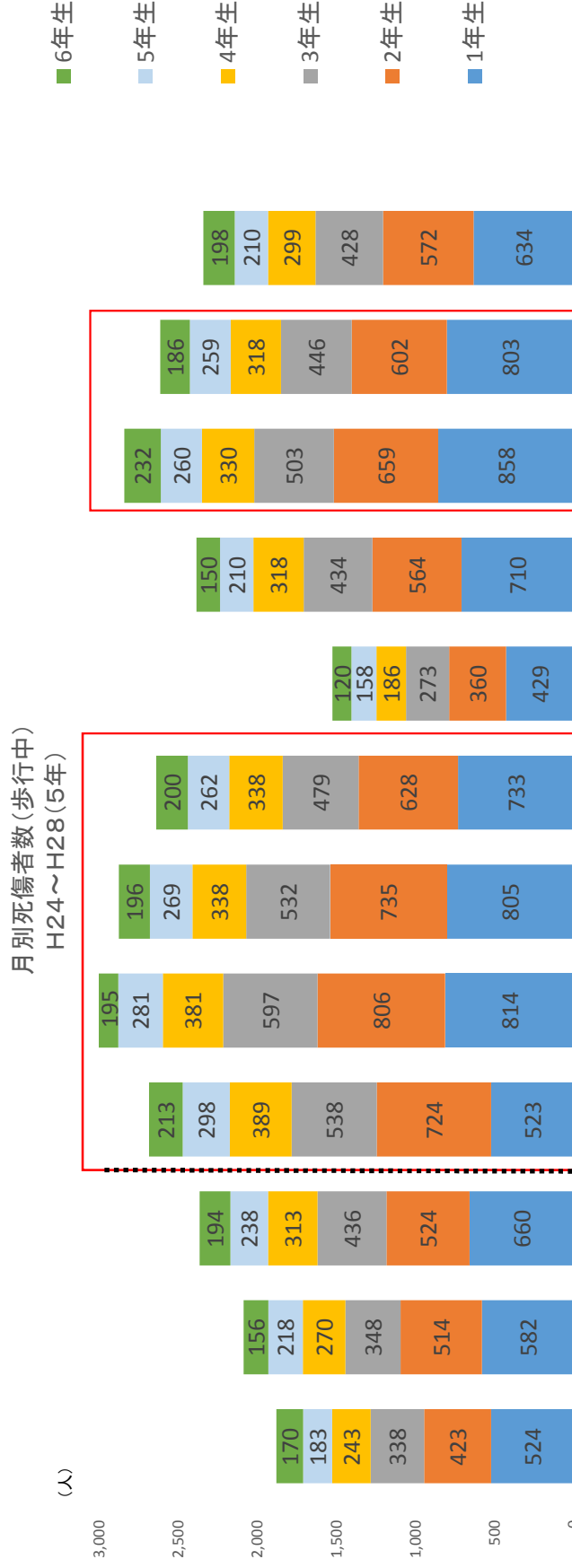
男児は女児の2.5倍

男児・女児別、学年別死者数(歩行中)
H24～H28(5年)



12 小学生歩行中の月別死傷者数

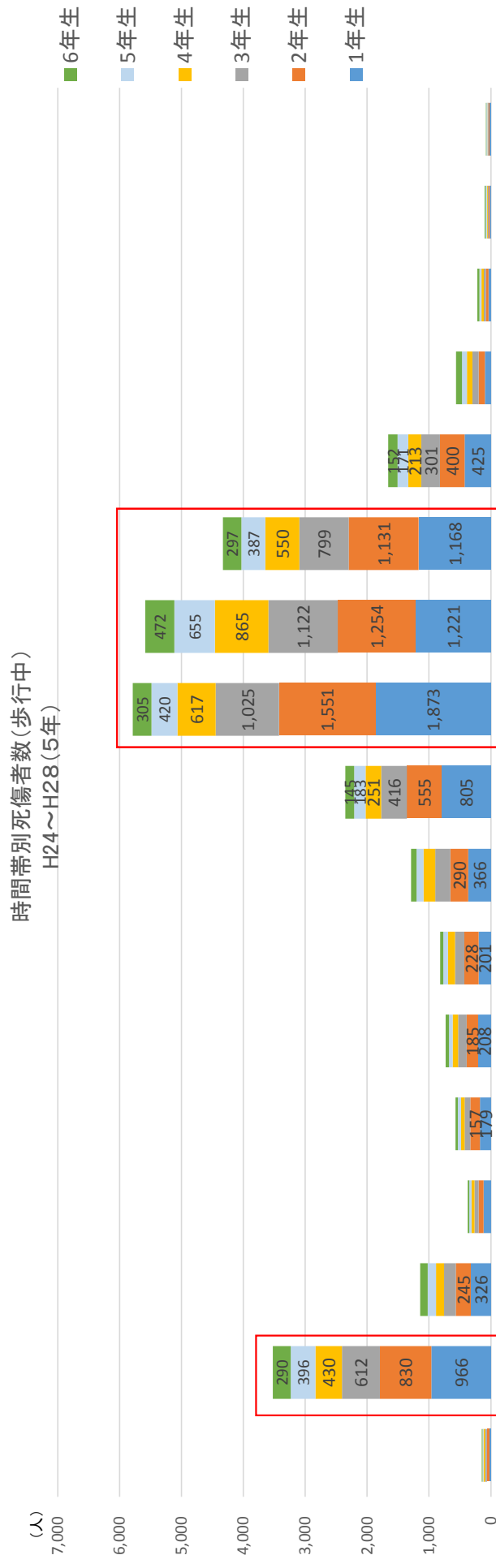
- 小学生全体では4月から7月、10・11月が多い。



死傷者数	1年生	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	524	582	660	523	814	805	733	429	710	858	803	634	8,075
	423	514	524	724	806	735	628	360	564	659	602	572	7,111
	338	348	436	538	597	532	479	273	434	503	446	428	5,352
	243	270	313	389	381	338	338	186	318	330	318	299	3,723
	183	218	238	298	281	269	262	158	210	260	259	210	2,846
	170	156	194	213	195	196	200	120	150	232	186	198	2,210
うち死者数	合計	1,881	2,088	2,685	3,074	2,875	2,640	1,526	2,386	2,842	2,614	2,341	29,317
	1年生	0	4	1	5	1	2	1	2	4	3	3	30
	2年生	1	1	1	2	3	3	1	4	3	1	1	30
	3年生	0	1	0	2	3	0	0	2	2	0	0	13
	4年生	0	2	0	1	0	3	1	0	2	0	0	9
	5年生	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	4
	6年生	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	5
合計	1月	1	8	5	10	9	10	4	8	14	4	5	91
	合計	1	8	5	10	9	10	4	8	14	4	5	91

13 小学生歩行中の時間帯別死傷者数

- 小学生全体では7時台と15時台から17時台が多い。
- 小学1・2年生は、15時台が最も多い。



14 小学生歩行中の通行目的別死傷者数

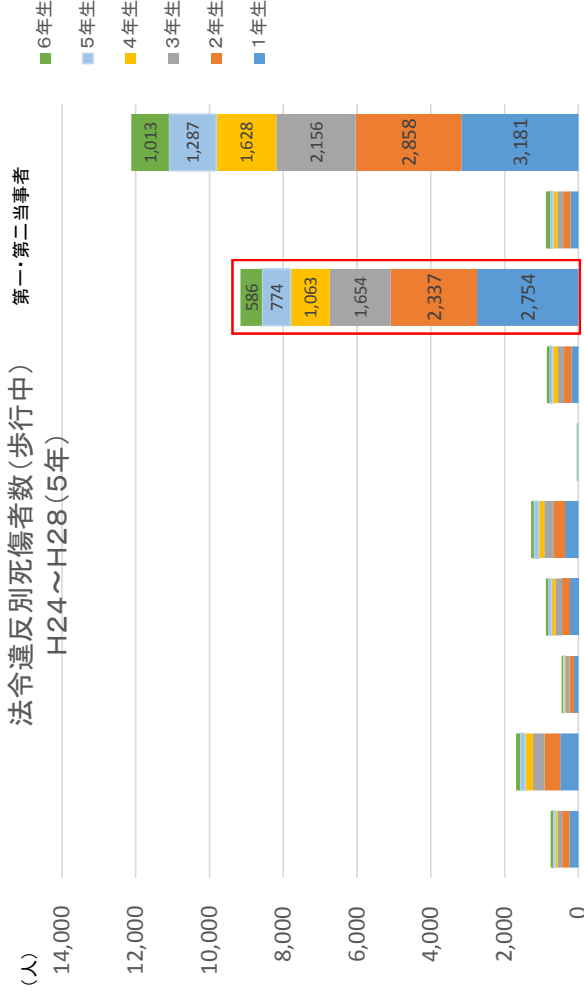
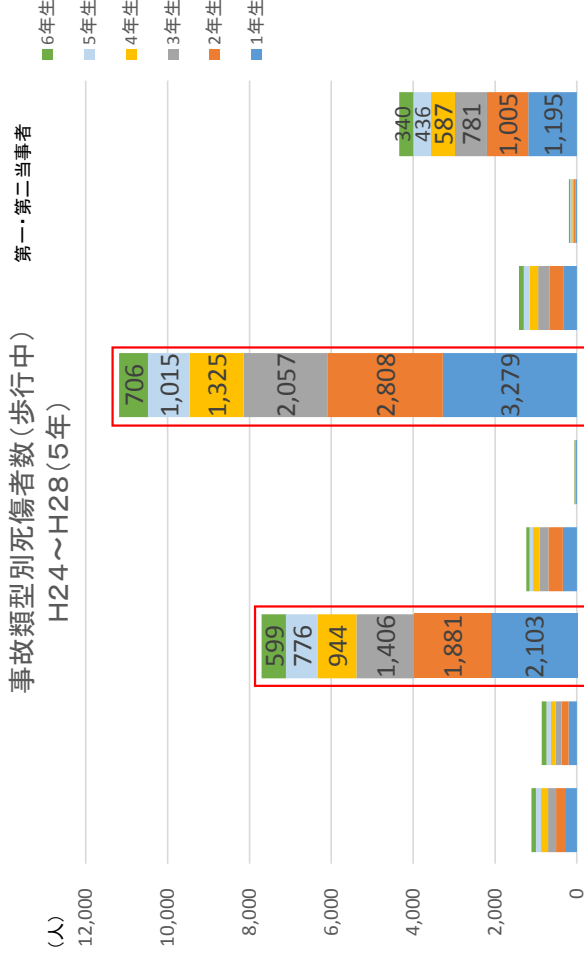
● 小学生全体では、登・下校中、私用の遊戯と訪問が多い。

通行目的別死傷者数(歩行中)
H24～H28(5年)



15 小学生歩行中の事故類型別・法令違反別死傷者数

- 小学生全体では横断歩道の横断中と「横断歩道、横断歩道橋付近、横断歩道橋付近以外」の横断中（下記グラフの横断中「その他」）が多い。
- 小学生全体では、「飛出し」が最も多い。



	対面通行 中	背面通行 中	横断中				路上遊戯 中	路上停止 中	その他等	合計
			横断歩道	横断歩道 付近	横断歩道 橋付近	その他				
死傷者数	1年生	289	205	346	26	3,279	321	37	1,195	7,801
	2年生	225	172	350	18	2,808	357	48	1,005	6,864
	3年生	196	145	219	12	2,057	271	31	781	5,118
	4年生	167	115	160	6	1,325	213	28	587	3,545
	5年生	126	110	77	7	1,015	141	26	436	2,721
	6年生	110	115	80	8	706	115	27	340	2,100
合計		1,113	862	1,239	77	11,190	1,418	197	4,344	28,149
うち 死者数	1年生	1	1	4	0	6	4	1	2	29
	2年生	0	0	12	1	7	3	1	3	28
	3年生	1	0	4	1	4	2	0	0	12
	4年生	0	0	2	0	0	1	0	0	9
	5年生	0	0	0	1	0	2	1	0	4
	6年生	0	0	0	0	0	0	1	1	4
合計		2	1	28	9	25	11	3	6	86

	信号無視	横断歩道 外横断	斜め横断	駐停車 間の直前・ 直後の横 断	走行車両 の直前・直 後の横断	横断禁止 場所の横 断	路上遊戯	飛出し	その他の 違反等	違反なし	合計
死傷者数	1年生	248	492	119	230	363	192	2,754	217	3,181	7,801
	2年生	192	429	126	208	307	9	2,337	202	2,858	6,864
	3年生	127	310	91	188	258	4	1,654	158	2,156	5,118
	4年生	65	211	54	110	154	7	1,063	116	1,628	3,545
	5年生	67	143	35	92	133	10	774	84	1,287	2,721
	6年生	55	108	33	58	68	69	586	105	1,013	2,100
合計		754	1,693	458	886	1,283	40	9,168	882	12,123	28,149
うち 死者数	1年生	1	3	0	0	0	1	9	1	14	29
	2年生	1	0	0	0	1	2	5	2	15	28
	3年生	1	0	0	0	2	0	1	1	6	12
	4年生	1	1	0	0	1	0	3	0	2	9
	5年生	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4
	6年生	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
合計		3	5	0	1	4	6	20	5	40	86

16 歩行中の小学生を交通事故の被害から守るために

保護者及び交通安全教育を行う方へ

保護者から離れた場合においても、単独又は複数で歩行者として安全に道路を通行することができるように基本的な心得を再確認させましょう。

★ 歩行者の通る所

歩行者は、原則として歩道又は幅の十分な路側帯を通行しなければならないこと。

★ 横断の仕方

☆ 横断する所

横断歩道又は信号機のある交差点が近くにある場合は、その横断歩道又は信号機のある交差点で横断しなければならないこと。

☆ 信号機のある所で横断しようとする場合

- ・ 信号機の信号の種類と意味、信号機の信号に従って通行しなければならないこと。
- ・ 信号が青になっても、右左の車が止まったのを確かめて横断すること。

☆ 信号機のない所で横断しようとする場合

- ・ 横断歩道橋、横断用地下道又は横断歩道が近くにある場合には、これらを利用して横断すること。
- ・ 横断歩道橋、横断用地下道又は横断歩道が近くにない場合は、道路がよく見渡せる所を探し、歩道の縁又は道路の端に立ち止まって左右の安全を十分に確認すること。
- ・ 走行中の車両が歩行者の横断のために停車した場合、他の車両の動きに注意し、安全を確認してから横断を始めること。
- ・ 横断中も車両が近づいてこないかどうか周囲の状況に注意すること。
- ・ 停車又は駐車中の車両の陰から別の車両が突然出てくるので注意すること。

※ 交通安全教育指針（平成10年国家公安委員会告示第15号）第2章第2節2（2）参照

17 歩行中の小学生を交通事故の被害から守るために

ドライバーの方へ

歩行中の小学生の交通事故を防止するため、以下の点に注意しましょう。

★ 子供の保護

- ☆ 子供が独りで歩いている場合には、一時停止か徐行をし、安全に通れるようにすること。
- ☆ 子供は、興味をひくものに夢中になり、突然路上に飛び出したり、判断力が未熟なために、無理に横断しようとしたりするので、特に注意すること。
- ☆ 止まっている通学通園バスのそばを通るときは、徐行し、安全を確かめること。
- ☆ 学校等の付近や通学路の標識のあるところでは、子供が突然飛び出してくることがあるので、特に注意すること。



学校、幼稚園、保育所等ありの警戒標識



学童用横断歩道の規制標識



横断歩道ありの道路標示

★ 歩行者が横断しているときなど

- ☆ 横断歩道のない交差点やその近くを歩行者が横断しているときは、その通行を妨げないこと。
 - ☆ 歩行者が横断しているときや横断しようとしているときは、横断歩道の手前（停止線があるときは、その手前）で一時的停止し、歩行者に道を譲ること。
 - ☆ 横断歩道やその手前で止まっている車があるときは、そのそばを通って前方に出る前に一時停止すること。
 - ※ こうしたことを遵守しなければ、「横断歩行者等妨害等」に係る違反となる可能性があります。
- #### ★ 交差点を通行するときの注意
- ☆ 車が右左折するとき、特に大型車は内輪差が大きく、左後方が見えにくいので左側を通行している歩行者や自転車などを巻き込まないように注意すること。

※ 交通の方法に関する教則（昭和53年国家公安委員会告示第3号）第5章第3節2及び4並びに第7節1（2）参照

18 歩行中の交通事故防止対策

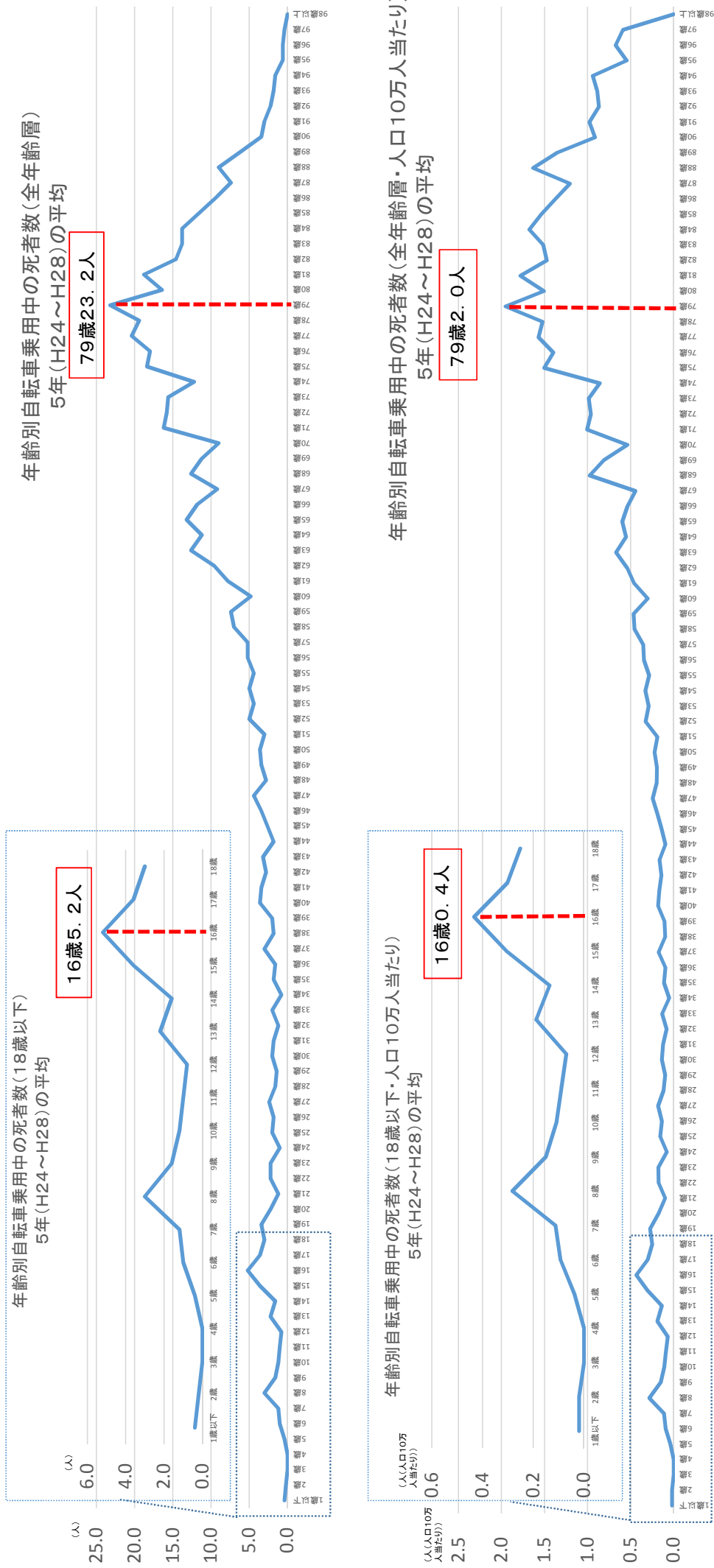
小学生の交通事故実態を踏まえ、学校関係者、保護者、交通ボランティア等と連携し、下記の事項を推進



- ・ 4月以降、小学低学年（特に、新1年生）に対する歩行者として必要な知識等を習得させる交通安全教育（飛出し、車両の直前・直後の横断及び横断歩道外横断の危険性や横断の仕方等の教育）
- ・ 登校時間帯の街頭における保護誘導活動等、子供の通行の安全を確保するための街頭活動
- ・ 下校時間帯や夕方の時間帯に重点を置いた子供の通行の安全を確保するための街頭活動
- ・ 管内の子供の交通事故実態の分析、学校関係者、保護者、交通ボランティア等に対する情報（管内で子供が遊戯に使用する場所の周辺道路等に関する情報）の提供

19 自転車乗用中の死者数(年齢別)

● 自転車乗用中の死者数では79歳(人口10万人当たり)が最も多いが、18歳以下で見ると、16歳が最も多い。

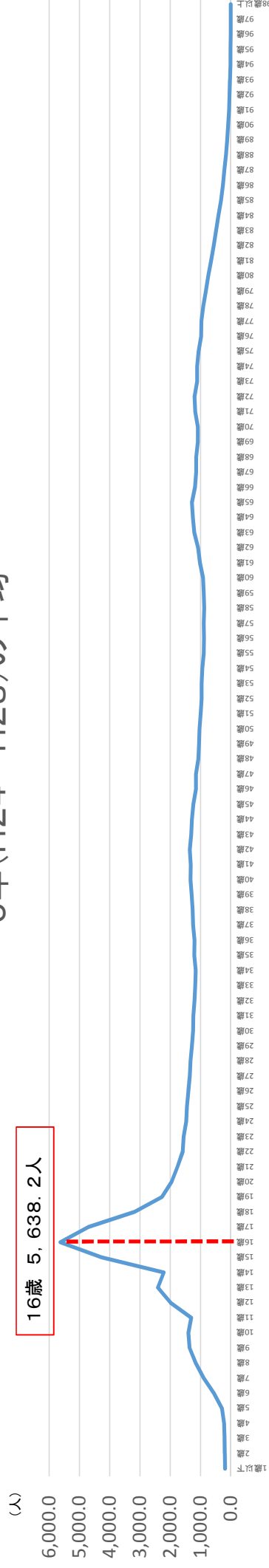


※ 算出に用いた人口は、平成26年の推計人口(総務省人口統計資料平成26年10月1日現在)による。

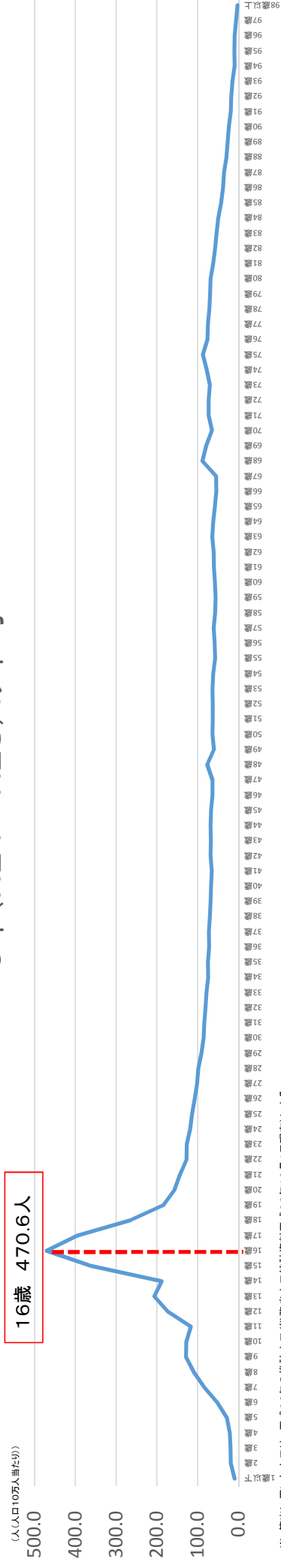
20 自転車乗用中の死傷者数(年齢別)

- 16歳の死傷者数が最も多い。

年齢別自転車乗用中の死傷者数
5年(H24～H28)の平均



年齢別自転車乗用中の死傷者数(人口10万人当たり)
5年(H24～H28)の平均



※ 算出に用いた人口は、平成26年の推計人口(総務省人口統計資料平成26年10月1日現在)による。

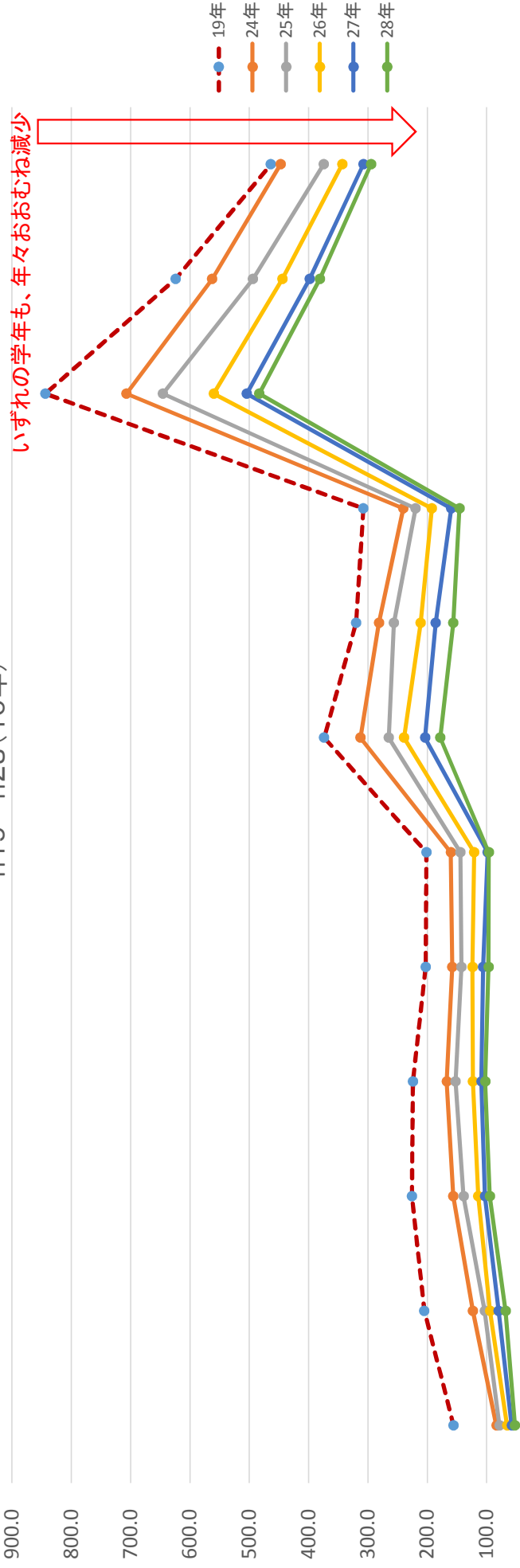
21 自転車乗用中の死傷者数(小学生・中学生・高校生)

● 小学1年生から高校3年生の自転車乗用中死傷者数(10万人当たり)は、各学年とも、年々減少傾向

学年別自転車乗用中の死傷者数(児童・生徒10万人当たり)

H19～H28(10年)

(人(人口10万人当たり))



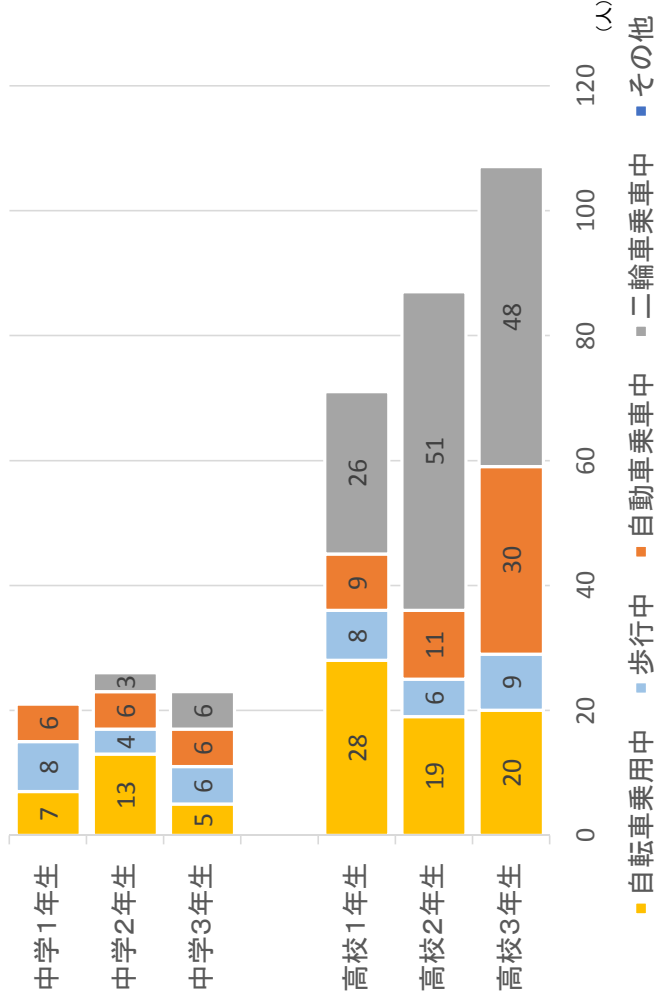
	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
H19	156.1	205.5	226.2	224.4	203.0	201.8	374.3	320.4	308.2	844.1	624.5	464.1
H20	149.7	184.6	214.4	218.1	191.2	196.6	351.3	321.7	278.0	788.2	604.7	426.6
H21	131.8	176.4	204.5	204.1	197.2	189.1	334.8	313.0	271.8	757.9	570.9	438.0
H22	103.6	137.0	171.1	183.4	172.3	169.6	332.5	313.0	277.9	792.0	599.8	446.3
H23	83.8	123.4	156.5	167.5	166.8	173.4	335.5	303.6	262.0	743.7	582.3	437.1
H24	78.5	103.4	139.1	152.7	158.2	160.6	312.9	281.7	240.8	707.4	562.9	447.6
H25	65.7	94.5	114.5	123.4	142.9	144.4	265.2	256.7	220.8	645.9	494.2	375.0
H26	57.9	80.2	103.1	109.0	124.1	121.3	239.5	211.5	192.7	560.3	444.7	343.7
H27	52.5	68.2	95.0	102.6	106.3	98.6	203.9	186.2	160.0	504.6	398.7	307.9
H28					97.0	96.6	178.5	156.5	145.9	483.6	381.6	295.0

※ 算出に用いた児童・生徒数は、各年の学校基本調査(文部科学省統計資料5月1日現在)による。

22 状態別死者数・死傷者数(中学生・高校生)

● 中学生・高校生の死傷者数では、自転車乗用中の割合が最も高い(特に高校1年生が突出)。

中学生・高校生の状態別死者数
H24～H28(5年)



中学生・高校生の状態別死傷者数
H24～H28(5年)



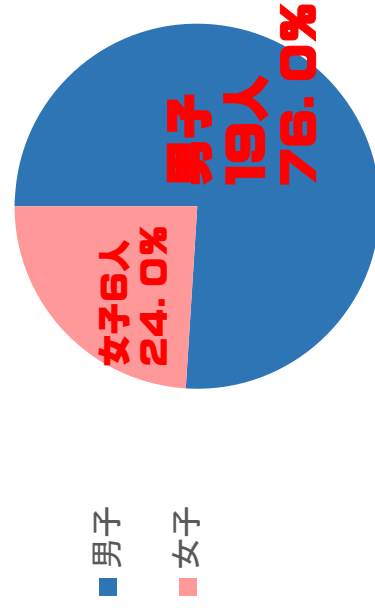
※ 小学校3年から6年についても自転車乗用中の事故は多いが、中学生及び高校生の傾向と同じであることから省略する。

23 中学生・高校生の自転車乗用中男女別死者数

- 中学生男子の自転車乗用中死者数は、女子の死者数の3倍以上
- 高校生男子の自転車乗用中死者数は、女子の死者数の3倍以上

中学生の男子・女子別死者数(自転車乗用中)

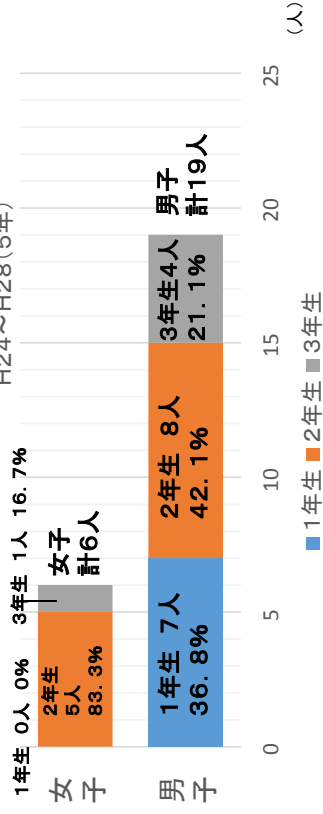
H24～H28(5年)



男子は女子の3.2倍

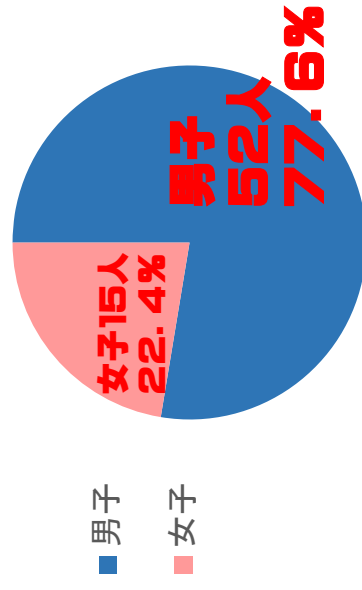
中学生の男子・女子別、学年別死者数(自転車乗用中)

H24～H28(5年)



高校生の男子・女子別死者数(自転車乗用中)

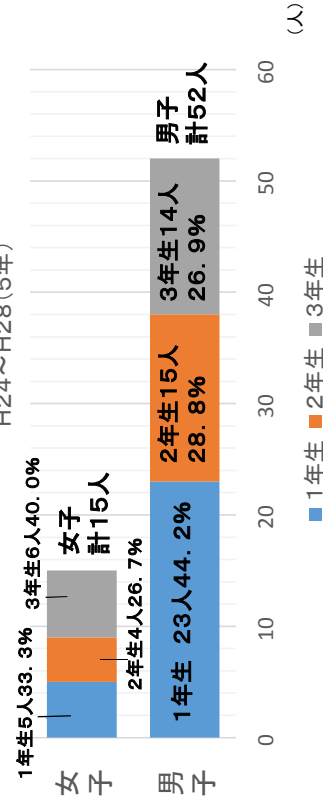
H24～H28(5年)



男子は女子の3.5倍

高校生の男子・女子別、学年別死者数(自転車乗用中)

H24～H28(5年)

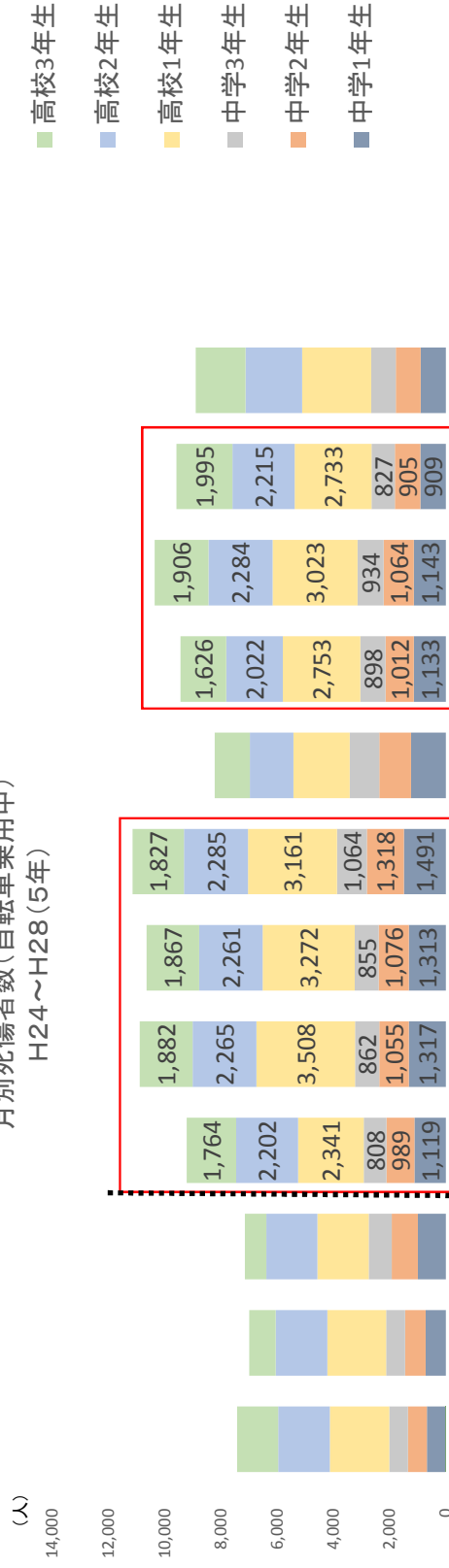


24 中学生・高校生自転車乗用中の月別死傷者数

● 中学生・高校生全体では4月から7月、9月から11月が多い。

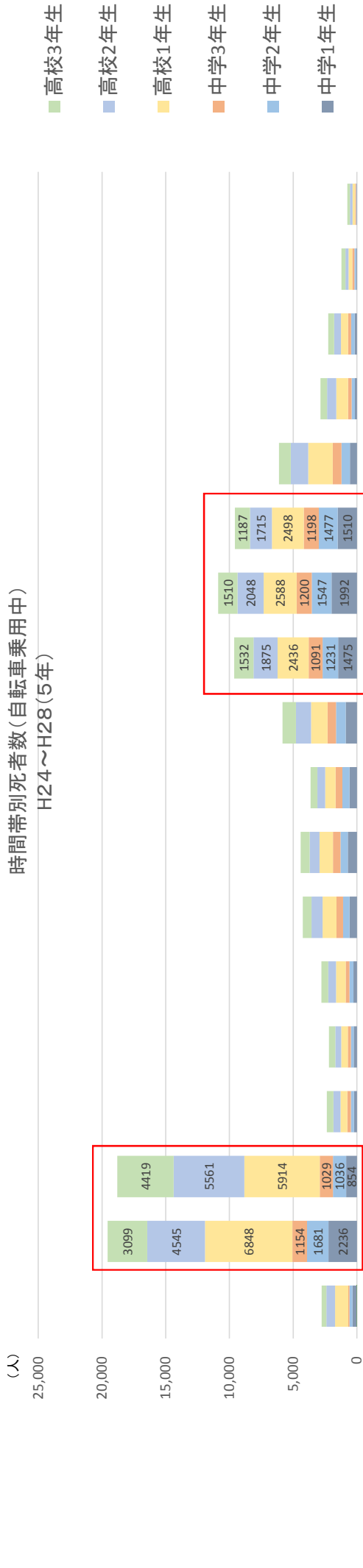
月別死傷者数(自転車乗用中)

H24～H28(5年)



25 中学生・高校生自転車乗用中の時間帯別死傷者数

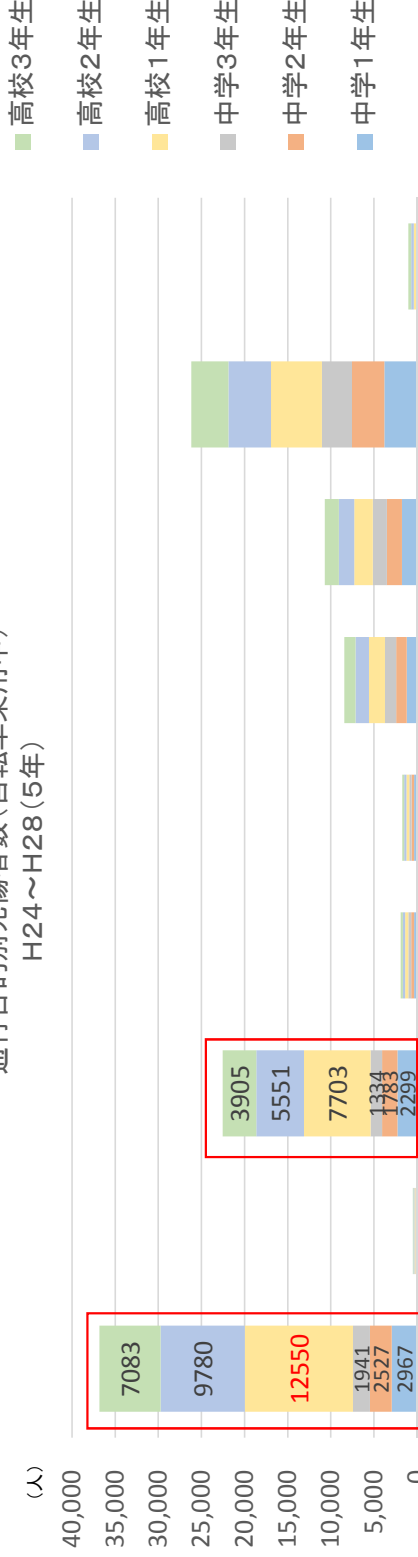
- 中学生・高校生全体では7・8時台と16時台から18時台が多い。
- 高校生は、7・8時台が最も多い。



26 中学生・高校生自転車乗用中の通行目的別死傷者数

- 中学生・高校生全体では、登・下校中が多い。特に、高校1年生の登校中が多い。

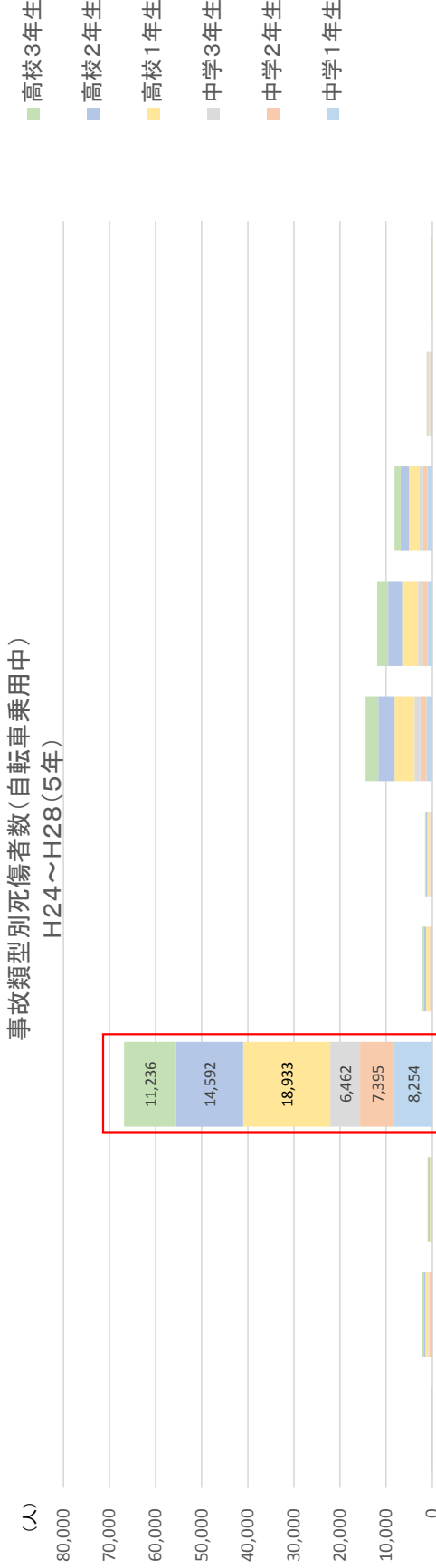
通行目的別死傷者数(自転車乗用中)
H24～H28(5年)



	登校中	学業中	下校中	私用				その他等	調査不能等	合計	
				観光・娯楽	散歩（自転車含む）	買物	訪問				
死傷者数	中学1年生	2,967	80	2,299	355	367	1,219	1,793	3,818	34	12,932
	中学2年生	2,527	74	1,783	353	315	1,239	1,719	3,737	29	11,776
	中学3年生	1,941	51	1,334	312	259	1,275	1,659	3,487	23	10,341
	中学生合計	7,435	205	5,416	1,020	941	3,733	5,171	11,042	86	35,049
	高校1年生	12,550	128	7,703	371	305	1,869	2,131	5,910	303	31,270
	高校2年生	9,780	111	5,551	281	269	1,550	1,797	4,924	326	24,589
	高校3年生	7,083	58	3,905	250	213	1,308	1,616	4,309	319	19,061
うち死者数	高校生合計	29,413	297	17,159	902	787	4,727	5,544	15,143	948	74,920
	中学1年生	1	1	0	1	0	1	2	1	0	7
	中学2年生	6	1	3	0	0	2	1	0	0	13
	中学3年生	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
	中学生合計	7	2	4	2	1	4	4	1	0	25
	高校1年生	11	0	7	1	0	4	1	2	2	28
	高校2年生	9	0	3	0	0	3	2	0	2	19
	高校3年生	6	0	1	0	0	2	9	2	0	20
	高校生合計	26	0	11	1	0	9	12	4	4	67

27 中学生・高校生自転車乗用中の事故類型別死傷者数

● 中学生・高校生全体では、「出会い頭」が最も多い。



	人対車両	車両相互						車両単独	列車	合計
		正面衝突	追突	出会い頭	追越追抜時	すれ違い時	左折時	右折時	その他	
死傷者数	中学1年生	8	339	81	8,254	319	269	1,290	1,037	0
	中学2年生	10	302	111	7,395	211	219	1,328	1,088	0
	中学3年生	8	251	76	6,462	166	159	1,224	997	1
	中学生合計	26	892	268	22,111	696	647	3,842	3,122	1
	高校1年生	27	586	293	18,933	654	464	4,369	3,433	3
	高校2年生	17	451	256	14,592	476	288	3,480	3,012	2
	高校3年生	13	337	207	11,236	368	224	2,768	2,397	1
うち死者数	高校生合計	57	1,374	756	44,761	1,498	976	10,617	8,842	6
	中学1年生	0	0	0	4	0	0	2	0	0
	中学2年生	0	1	1	6	0	0	4	0	0
	中学3年生	0	0	0	1	0	0	1	0	1
	中学生合計	0	1	1	11	0	0	7	0	1
	高校1年生	1	0	7	13	0	0	1	2	1
	高校2年生	0	0	2	9	1	0	3	2	1
高校生合計	高校3年生	0	0	0	10	1	1	5	2	1
	高校生合計	1	0	9	32	2	1	9	6	3

28 自転車乗用中の生徒を交通事故の被害から守るために

保護者及び交通安全教育を行う方へ

生徒は、通学等として自転車を利用する機会が多いことから、自転車の正しい乗り方について、基本的な心得を再確認させましょう。

★ 自転車に乗るに当たって

- ☆ 安全な発進及び停止の方法、正しい乗車姿勢、両手でハンドルを確実に握ること。
- ☆ ブレーキが故障している場合、夜間に尾灯及び反射器材が付いていない場合には、自転車に乗ってはならないこと。
- ☆ 体格に合わない自転車に乗らないようにすること、二人乗り等の危険な乗り方をしないこと。

★ 自転車の通る所

- ☆ 原則として車道又は自転車道の左端に沿って通行しなければならないこと。
- ☆ 道路の中央から左の部分に設けられた路側帯を通行することができること。
- ☆ 道路標識等により普通自転車が歩道を通行できるととされている場合には、歩道を通行できること。

★ 交差点の通行の仕方

- ☆ 信号機のある交差点を通行する場合
 - ・ 信号機の信号に従って通行しなければならないこと。
- ☆ 信号機のない交差点を通行する場合
 - ・ 一時停止を示す標識がある場合は、一時停止をして安全を確認しなければならないこと。
 - ・ 一時停止を示す標識がない場合にも、安全を十分に確認し、速度を落として通行すること。

★ 走行上の注意等

- ☆ 歩道から車道へ及び車道から歩道への乗り入れは、安全を確かめながら行うこと。
- ☆ 携帯電話の通話・操作、傘差し、ヘッドホン使用等による走行をしないこと。
- ☆ 歩道を通る場合には直ちに停止できるような速度で通行すること。
- ☆ 夜間は、前照灯をつけて走行すること。

※ 交通安全教育指針（平成10年国家公安委員会告示第15号）第2章第2節2（4）、第3節2（3）及び第4節2（2）参照

29 自転車乗用中の生徒を交通事故の被害から守るために

ドライバーの方へ

自転車乗用中の生徒の交通事故を防止するため、以下の点に注意しましょう。

★ 自転車の保護

- ☆ 追越しなどのため自転車のそばを通るときは、自転車のふらつきなどを予想し、自転車との間に安全な間隔を空ける、又は徐行すること。
- ☆ 道路に面した場所に入入りするため歩道等を横切る場合には、その直前で一時停止し、自転車がいないか確かめること。
- ☆ 交差点を通行するときは、自転車との衝突や巻き込みなどに十分注意するとともに、自転車の運転者が自動車の存在を認識しているかどうか確認しながら通行すること。
- ★ **交差点を通行するときの注意**
- ☆ 交差点に入ろうとすときや、交差点内を通行するときは、右折車、歩行者などに気を配りながら、交差点の状況に応じてできる限り安全な速度と方法で進行すること。
- ☆ 車が右左折するときは、内輪差が生じるが、特に大型車は内輪差が大きく、左後方が見えにくいので左側を通行している歩行者や自転車などを巻き込まないように注意すること。

※ 交通の方法に関する教則（昭和53年国家公安委員会告示第3号）第5章第3節7及び第7節1参照

自転車安全利用五則

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外 | 4 安全ルールを守る |
| 2 車道は左側を通行 | 5 安全確認 |
| 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 | |
| ※ 平成19年7月10日交通対策本部決定 | |

30 自転車乗用中の交通事故防止対策

自転車乗用中の交通事故実態を踏まえ、学校関係者、保護者、交通ボランティア等と連携し、下記の事項を推進



- ・ 小学生に対する自転車利用者として必要な知識・技能等を習得させる交通安全教育（車両としての交通ルールの遵守や交通マナーの実践などの基本的な事項、自転車の正しい乗り方、自転車の通る所、交差点の通行の仕方、歩行者や他の車両に対する注意等の教育）
- ・ 中学生に対する自転車利用者として必要な知識・技能等を習得させる交通安全教育（自転車の正しい乗り方の実践や自転車の点検整備等の教育）
- ・ 高校生に対する自転車利用者として必要な知識・技能等を習得させる交通安全教育（中学生までに習得した事項の再確認と確実な実践等の教育）
- ・ 登下校時間帯における交差点等の交通事故発生が予想される場所を重点とした街頭活動
- ・ 管内の自転車乗用中の交通事故実態の分析、学校関係者、保護者、交通ボランティア等に対する情報提供